

「おおえギネスに挑戦」
～子どもたちが、面白く継続できるツール～
(鬼楽スポーツクラブ 京都府福知山市)

1. 事業の全体概要

「おおえギネスに挑戦」は、個人で『おおえギネス（地域限定の様々な一番の記録集）』記録に挑戦していくプログラムです。種目は二重跳び（1 分間）やダブルダッチ（2 分間）、スリッパ飛ばし、フリースロー、紙飛行機飛ばし、フラフープ、リフティングなど多種目用意しており、各種目には目標値＝『おおえギネス』がスタッフにより定められています（男女別、学年別）。参加者は好きな種目を自由を選択して、自己記録の更新、そして『おおえギネス』記録に挑戦します。スタッフが脇で計測します。

月に 1 回、小学校の体育館を利用して会場を準備し、3 小学校を月ごとに巡回する形で実施しています。主な対象は小学生ですが、中学生や大人も参加できます。小学生で『おおえギネス』記録を達成した子は『おおえギネス』として認定され、クラブ会長名の認定証を学校で授与されます。参加費は無料です。

始めは「遊びの広場」という名称でニュースポーツを行っていただけでしたが、「子どもたちに目標をもたせたい」という声から現在の型のようにになりました。

現在は小学生のみに広報をしています（学校より配布）が、毎回 10～50 名程の参加があります。子どもたちは毎回、準備から片付けまで、主体的に活動しています。



ダブルダッチ変則入に挑戦



フリースローに挑戦

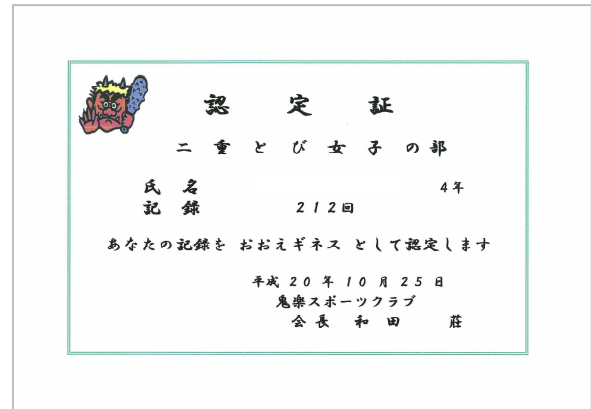
事業の成果としては、子どもの体力向上はもとより、目標を設定して努力し達成する喜びや、表彰される喜びを子どもたち一人ひとりに与えられることではないでしょうか。また、子どもの主体性も育てることができます。さらには休日に子どもを地域へ引っ張りだせること、地域で子どもを見られることもたいへん魅力的です。

2. 成功のポイント

鬼楽スポーツクラブのある地域では、昔から体育指導委員の方が熱心に地域のスポーツ振興を担っていらっしゃいました。鬼楽スポーツクラブが設立された後も、クラブスタッフとなり、地域の子どもの問題に真摯に取り組み事業を行っています。



遊ぶことも大事！



認定証

この「おおえギネスに挑戦」はそんな熱心なスタッフたちの、“子どもたちに目標をもって努力できるようになってほしい”という願いと、子どもたちが純粋に“自己記録をぬり返るため努力し、記録更新できて面白い”と感じる満足感がうまくマッチしたことが、成功したポイントだといえるのではないのでしょうか。

さらには認定証発行や種目の選択肢を増やすなど、子どもたちのモチベーションを持続させるような仕掛けづくりをしたこともポイントだといえます。道具も高価なものを揃える必要もなく、スタッフの負担も大きくありません。これらの点から「おおえギネスに挑戦」は、子どもたちが自然に“面白い”と思える心理をうまく活用できた、無理なく続けられる事業だといえるでしょう。

また学校との連携・協力も大きいといえます。学校から広報してもらえたり認定証を授与してもらえたりすることで、地域と学校のコミュニケーションがとれており、地域が一丸となってスポーツ振興を盛り上げていることがうかがえます。

この事業をスポーツクラブが実施することによって、子どもたちが“地域で”スポーツ（体を動かすこと）を楽しむ、という土壌づくりにつながったといえるのではないのでしょうか。

(渡辺史子 京都府クラブ育成アドバイザー)

<鬼楽スポーツクラブ プロフィール>

1. **設立** 平成 20 年、市町村合併による体協・体育指導委員会の解散に伴う新たなスポーツ振興組織の必要性から設立
2. **地域** 人口：約 5,400 人 特性：農山村地域で府内でも高齢者の多い町
3. **クラブ** 会員制度の準備中 特徴：子どもから高齢者、障害者まで広く参加できるクラブ
予算規模：94 万円
4. **連絡先** ※自宅住所のため非公開
▽財団法人京都府体育協会 クラブ育成アドバイザー 渡辺まで
(京都市南区東九条下殿田町 70 京都府スポーツセンター内
TEL：075-692-3455 FAX：075-692-3457
E-mail：sogogata-adviser@kyoto-sa.com)

関連リンク：渡辺史子氏プロフィール（ページ下）

<http://www.japan-sports.or.jp/local/outline/adviser/26.html>